

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	ハイパフォーマンス・サポート事業			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	競技スポーツ課		競技スポーツ課長 日比 謙一郎
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法第25条			関係する 計画、通知等	持続可能な競技力向上プラン(令和3年12月27日スポーツ庁策定) 第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定)		
政策	11 スポーツの振興			主要経費	科学技術振興費		
施策	11-3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-08.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	アスリートがひたむきに努力し、試合で躍動する姿は、国民のスポーツに対する関心を高めるものであるから、オリ・パラ大会等で活躍が期待できるトップアスリートに対し、スポーツ医・科学、情報等による専門的かつ高度な支援を実施するとともに、競技直前の準備に必要な支援を行うサポート拠点を設置し、「オリ・パラ競技大会及び主要国際大会において、過去最高水準の金メダル獲得数、メダル獲得総数、入賞数及びメダル獲得競技数等の実現に向けて支援するものである。						
現状・課題 (5行程度以内)	本事業を通じて、メダル獲得の可能性が高い競技を対象に専門的かつ高度なスポーツ医・科学、情報等支援を実施してきたことにより、東京2020オリパラ大会、北京2022オリパラ大会において、過去最高の金メダル獲得を含む好成績を収めることができた。この成果を一過性のものとせず、次期のパリ2024大会、ミラノ・コルティナ2026大会においても引き続き我が国のアスリートが好成績を収めることができるよう、世界的な技術革新への対応も含めた支援の一層の高度化・充実が求められる。 【東京大会、北京大会における我が国の競技成績】 ・東京2020オリ大会(金27 銀14 銅17 計58)、東京2020パラ大会(金13 銀15 銅23 計51) ・北京2022オリ大会(金 3 銀 6 銅 9 計18)、 北京2022パラ大会(金 4 銀 1 銅 2 計 7)						
事業概要 (5行程度以内)	次期オリパラ大会(パリ2024、ミラノ・コルティナ2026)においてメダル獲得の可能性の高い競技を対象に、我が国のトップアスリートが世界の強豪国に競り勝ち、メダルを獲得することができるよう、スポーツ医・科学、情報等による多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施する。 具体的には、重点(ターゲット)支援競技が行う強化活動や競技大会等に帯同し、アスリートやコーチのニーズ等を踏まえ、スポーツ医・科学、情報面からのサポート等を行うほか、オリンピック・パラリンピック競技大会等の主要国際総合競技大会において、競技直前の準備に必要な支援を行うサポート拠点を関係機関と連携して設置する。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop07/list/detail/1372076.htm						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	2,204	2,124	1,209.5	1,164.3	0
		補正予算(B)	-	-	-	1,245.4	
		令和5年度第1次補正予算				1,245.4	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	50	1,130	0	40.4	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 1,130	0	▲40.4		
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	1,124	3,254	1,169.1	2,450.1	-	
	執行額(G)		1,124	3,254	1,068.4		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	91%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		51%	153%	88%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	スポーツ振興費			独立行政法人日本スポーツ振興センター運営費交付金として要求するため。		
		スポーツ医・科学支援委託費	1,164				
		その他	0	0			
	計(A)		1,164.3	0			

活動内容① (アクティビティ)		アスリート支援として、サポート体制の充実とサポート人材の育成に取り組む。オリ・パラ大会等でメダル獲得が期待される競技(＝重点(ターゲット)支援競技)において、競技団体(NF)が行う日常的な強化合宿や競技大会に帯同しアスリートやコーチのニーズ等を踏まえてスポーツ医・科学、情報の面からのサポート等を行う人材を派遣するとともに、アスリートサポートを行う人材育成のための研修プログラムを実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		重点(ターゲット)支援競技に、支援を行う	重点(ターゲット)支援競技のうち支援した競技数【夏季/冬季オリ・パラ競技】	活動実績	競技数	30	31	45	－	－
				当初見込み	競技数	32	33	47	34	34
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	オリ・パラ競技大会で好成績をもたらす上では、競技団体のニーズに応えた満足度の高い支援の実施をすることが重要と考えられる。そのため、アスリート支援として重点支援競技団体に派遣するサポート人材増加・質の向上など推進し、支援を受けた重点支援競技団体の満足度100%を目標設定とする。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		支援を受けたNFの満足度の向上	支援を受けたNFの満足度(5段階評価で4以上と評価したNFの割合) ※令和4年度評価は、現在集計中。	成果実績	%	－	85	－	－	
				目標値	%	－	－	100	100	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		「ハイパフォーマンス・サポート事業活動実績報告書」								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	オリ・パラ競技大会での好成績をもたらす上では、競技団体のニーズに答えた満足度の高い支援の実施と、主要国際大会における競技実績の相関を見ることが重要と考えられるため。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 － 年度	
		支援をうけたNFの競技成績の向上	支援を受けたNFの世界選手権等の主要国際大会における入賞率	成果実績	%	100	100	－	－	
				目標値	%	－	－	100	100	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		支援を受けたNFの中で入賞(8位以上)した数 / 支援を受けたNFの数 主要国際大会の競技成績 (R4年度は現在集計中)								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	本事業による支援が、競技成績の向上に寄与する上では、アスリート支援がより効果的であることが重要であるため、その成果を図る指標として、オリ・パラ競技大会においてアスリート支援を受けた重点支援競技団体の、メダル獲得割合100%を目指す。 なお、重点競技とは特にメダル獲得が強く期待される競技種目として選定されたものであり、そこに所属するアスリートへの支援を主たる目的としていることから、金メダル獲得を長期アウトカム指標と考えるものである。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度	
		それぞれのオリ・パラ競技大会において、支援を受けた重点支援競技の、競技成績の向上	重点支援を実施した競技団体における、オリ・パラ競技大会での金メダル獲得割合	成果実績	%	－	58	－	－	
				目標値	%	－	100	－	100	
				達成度	%	－	58	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		オリ・パラ競技大会における、 金メダル獲得の重点競技団体数 / 重点競技数団体数 (東京大会実績:金メダル獲得の競技団体数15 / 重点競技団体数26) メダル獲得に至らなかったNFについては、アンケート等で十分に要因を調査し、サポート内容の改善に努める。								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		オリンピック・パラリンピック競技大会等の大規模な国際競技大会において、アスリート、コーチ、スタッフが競技へ向けた最終準備を行うための医・科学・情報サポート拠点の設置・運営及びその効果的な設置へ向けた調整、準備等をはじめとした取組を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		オリ・パラ競技大会(パリ大会)におけるサポートの実施	医・科学、情報サポート拠点を活用した選手数(のべ)	活動実績	人数	-	3,537	-	-	-
				当初見込み	人数	-	-	-	-	5,200
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	本事業による支援が競技成績の向上に寄与する上では、サポート拠点が各NFにより効果的に活用されることが重要であることから、その成果を図る指標として、サポート拠点の利用率を100%と設定する。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		支援を受けたNFの活用割合の向上	サポート拠点を活用したNFの割合(活用NF/NF)	成果実績	%	-	59	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		日本スポーツ振興センター(JSC)の事業成果報告 (サポート拠点を活用したNFの数/オリ・パラ競技に参加するNF)								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	本事業による支援が、競技成績の向上に寄与する上では、アスリート支援がより効果的であることが重要であるため、その成果を図る指標として、オリ・パラ競技大会においてアスリート支援を受けた重点支援競技団体の、メダル獲得割合100%を目指す。 なお本事業は、サポート拠点の設置・運営を主たる支援としており、サポート拠点はオリンピック・パラリンピックに参加するすべての団体の利用が可能である。利用競技団体は多岐にわたり、また国際競技力レベルも様々な段階であることから、このアクティビティの成果指標としては、「サポート施設を利用した団体の中でも、重点支援競技種目に選定された競技団体の、金・銀・銅などのメダル獲得割合」とすることにし、この割合の向上で長期アウトカム指標を測るものとする。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		重点支援競技団体の、オリ・パラ競技大会における競技成績	重点支援を実施した競技におけるメダル獲得競技割合	成果実績	%	-	85	-	-	
				目標値	%	-	100	-	100	
				達成度	%	-	85	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		オリ・パラ競技大会における、 重点支援競技団体におけるしたメダルを獲得した競技団体数 / 重点競技団体数 (R3東京大会実績:メダルを獲得した競技団体数 22 / 重点競技団体数26) メダル獲得に至らなかったNFについては、アンケート等で十分に要因を調査し、サポート内容の改善に努める。								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容③ (アクティビティ)		オリンピック・パラリンピック競技大会等の大規模な国際競技大会において、アスリート、コーチ、スタッフが競技へ向けた最終準備を行うための医・科学・情報サポート拠点の設置・運営及びその効果的な設置へ向けた調整、準備等をはじめとした取組を実施する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		オリ・パラ競技大会(パリ大会)におけるサポートの実施	医・科学、情報サポート拠点を活用した選手数(のべ)	活動実績	人数	-	3,537	-	-	-	
				当初見込み	人数	-	-	-	-	5,200	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	本事業による支援が競技成績の向上に寄与する上では、サポート拠点が各NFにより効果的に活用されることが重要であることから、その成果を図る指標として、サポート拠点の利用者であるNFの満足度を100%を設定する。 (サポート拠点を活用したNFの満足度(5段階評価で4以上と評価したNFの割合))									
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度		
				成果実績	%	-	85	-	-		
				目標値	%	-	-	-	100		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		日本スポーツ振興センター(JSC)の事業成果報告									
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	本事業による支援が、競技成績の向上に寄与する上では、サポート拠点が各NFにより効果的に活用されることが重要であることから、その成果を図る指標としてサポート拠点を利用した重点支援競技の、オリ・パラ競技大会における、メダル獲得割合100%を目指す。 なお本事業は、サポート拠点の設置・運営を主たる支援としており、サポート拠点はオリンピック・パラリンピックに参加するすべての団体の利用が可能である。利用競技団体は多岐にわたり、また国際競技力レベルも様々な段階であることから、このアクティビティの成果指標としては、「サポート施設を利用した団体の中でも、重点支援競技種目に選定された競技団体の、金・銀・銅などのメダル獲得割合」とすることにし、この割合の向上で長期アウトカム指標を測るものとする。									
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
				成果実績	%	-	85	-	-		
				目標値	%	-	100	-	100		
				達成度	%	-	85	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		オリ・パラ競技大会における、 重点支援競技団体におけるしたメダルを獲得した競技団体数 / 重点競技団体数 (R3東京大会実績:メダルを獲得した競技団体数 22 / 重点競技団体数26) メダル獲得に至らなかったNFについては、アンケート等で十分に要因を調査し、サポート内容の改善に努める。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									
		-									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

オリンピック競技・パラリンピック競技においてメダル獲得が期待される競技を
ターゲットとして、我が国のトップアスリートが世界の強豪国に競り勝ち確実にメ
ダルを獲得することができるよう、多方面から専門的かつ高度な支援を戦略的・
包括的に実施する。

スポーツ庁
1,068百万円

委託【随意契約(その他)】

A. 独立行政法人日本スポーツ振興センター
1,068百万円

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	サポート機器ライセンス、複合機保守 等	506,974			
旅費賃金	大会・合宿等帯同サポート、現地調査 等	249,486			
一般管理費	直接経費の10%	82,889			
賃金借損料	サポートスタッフ、事務スタッフ 等	67,402			
消費税相当額	人件費、外国旅費×10% 等	61,331			
設備備品費	ノートPC、サポート機器 等	29,334			
諸謝金	サポート委嘱スタッフ、サポート外部協力者 等	40,853			
諸謝金	サポート委嘱スタッフ、サポート外部協力者 等	17,188			
消耗品費	少額機器、資料作成文具 等	10,576			
通信運搬費	機材等運搬、超過手荷物、通話料 等	2,454			
計		1,068,487	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

